



農林水産省の御紹介

【農業工学系(総合職)、農業土木・調査計画系(一般職)】

MAFF

Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries

農林水産省



CONTENTS

- 1 農林水産省の仕事
- 2 採用区分とキャリアパス、研修制度
- 3 採用プロセス、採用実績
- 4 働き方、職員の声

VISION STATEMENT

わたしたち農林水産省は、
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、
常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。



MISSION

- ◆ 先人から受け継いだ農地や水（農業用水）を守り、さらに発展させる**農業・農村の基盤整備**と、

地域の創意工夫ある取組を後押しする**地域活性化の政策**により、

魅力ある農業・農村を次世代に引き継ぐこと！

- ◆ さらには、蓄積された**基盤整備の技術やノウハウ**を用いて、国内のみならず**世界**の食料や農業・農村の課題の解決に貢献すること！

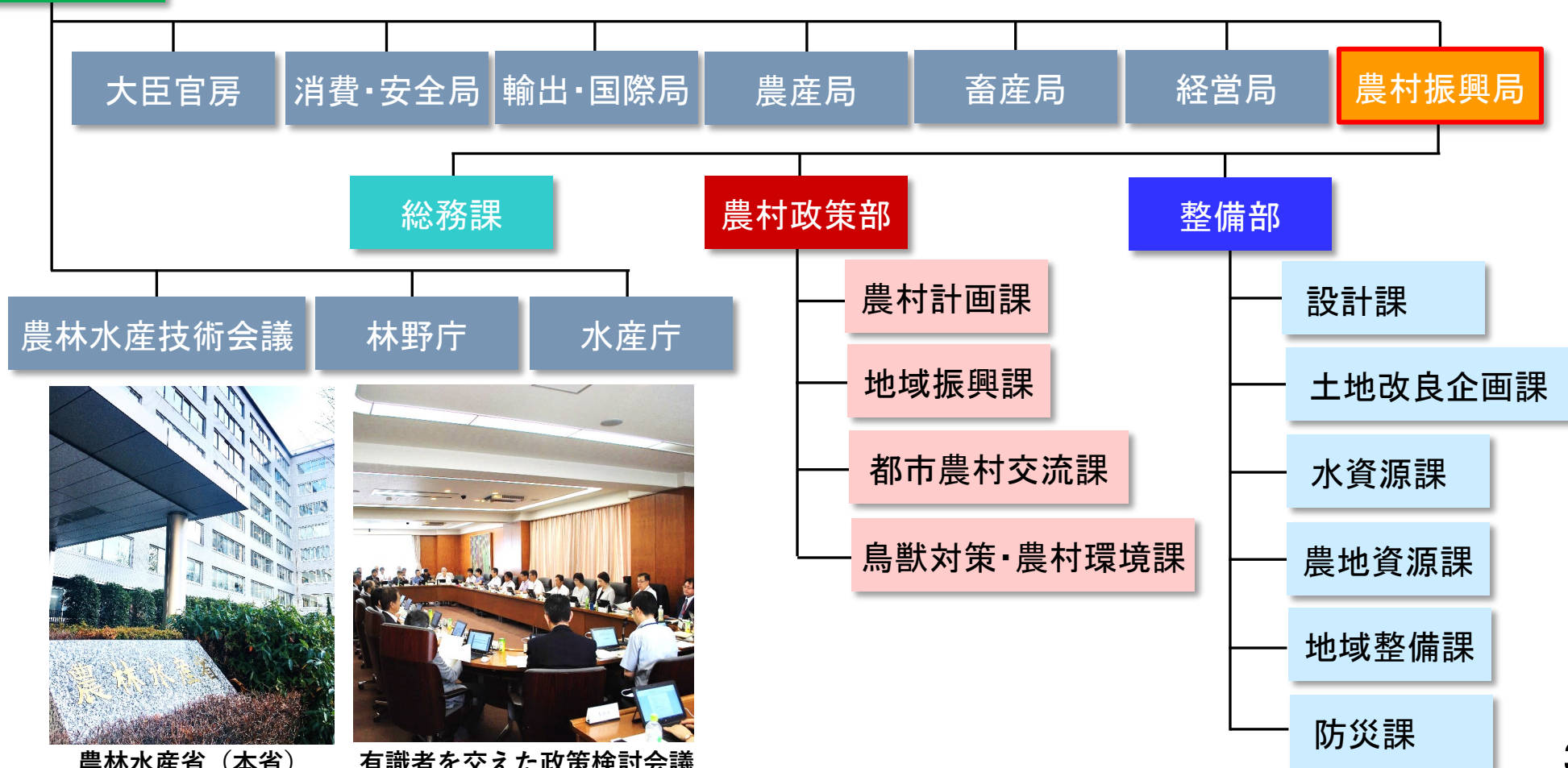


農林水産省の組織（本省）

農業工学分野で農林水産省に採用されると、本省（農村振興局）や地方農政局（農村振興部）、国営事業所等で、農業・農村の基盤整備と農村の振興に関する業務を行います。

本省
(約5千人)

- 全国的視点に立ち、農業・農村の目指すべき姿や課題解決に向けた政策の企画・立案
- 法令などの制度改革、予算要求、政策の実行に必要な政府内関係者との調整等を実施



地方出先機関

(約1万5千人)

森林管理局

漁業調整事務局

植物防疫所

動物検疫所

動物医薬品検査所

農林水産政策研究所

地方農政局 (全7ブロック※)

- 本省で企画・立地された政策の周知、事業等を地域の実情に合わせた的確に実施
- 都府県、市町村などとの調整や情報交換、啓発活動

農 村 振 興 部

- 農村振興に関する調査・計画等
- 農業農村整備事業の調査・計画・実施等の指導・助言

土地改良調査管理事務所

- 国営事業を実施するための調査や計画の立案
- 完了した国営事業地区の機能保全・管理に係る調査・計画・対策等の実施

土地改良技術事務所

- 国営事業の実施に必要な技術支援

国 営 事 業 (務) 所

- 国営事業の実施

※地方農政局は、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、九州の7ブロックに設置



土地改良調査管理事務所における
国営造成施設の調査・管理等



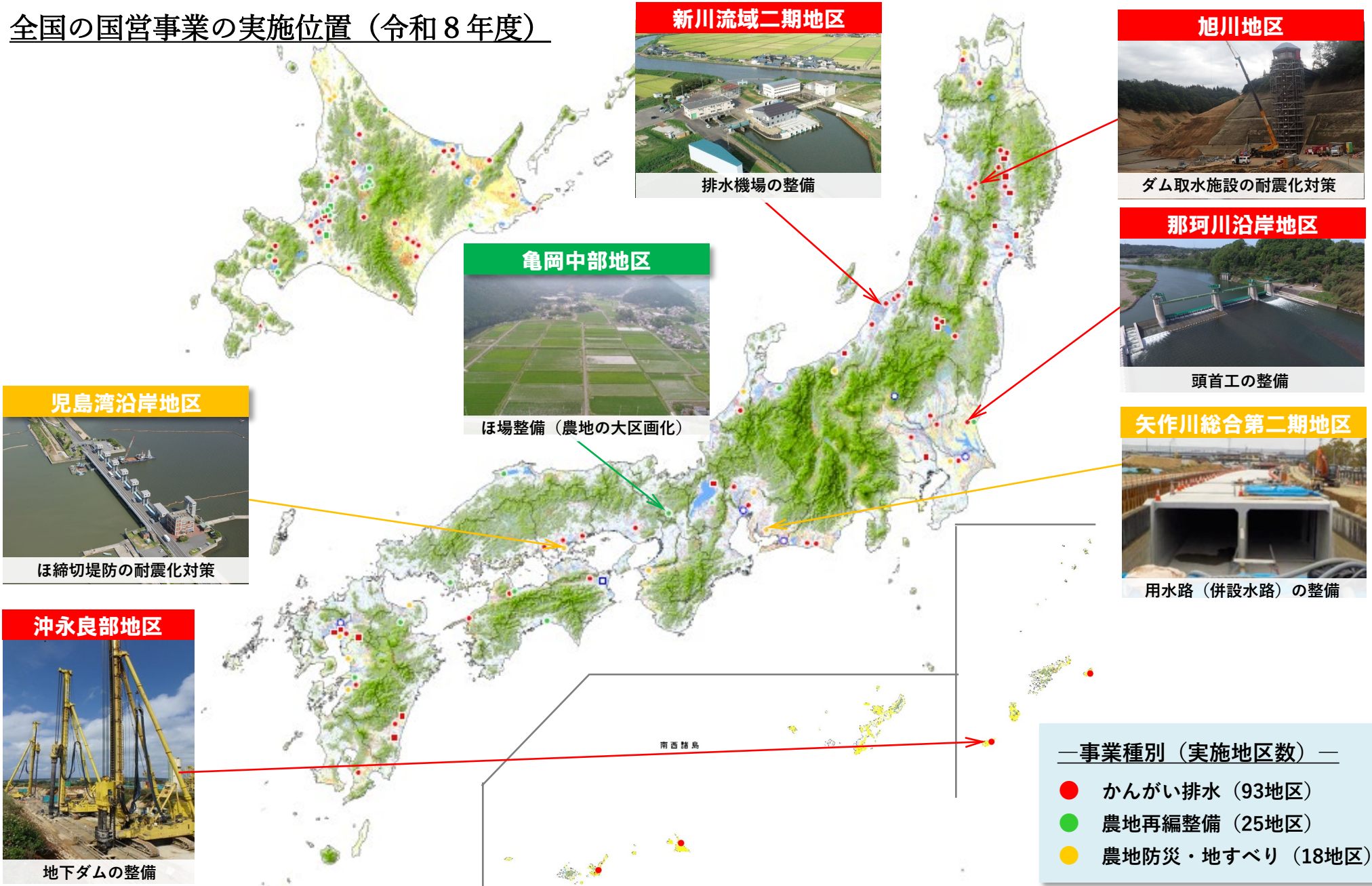
土地改良技術事務所による
国営事業所への技術支援



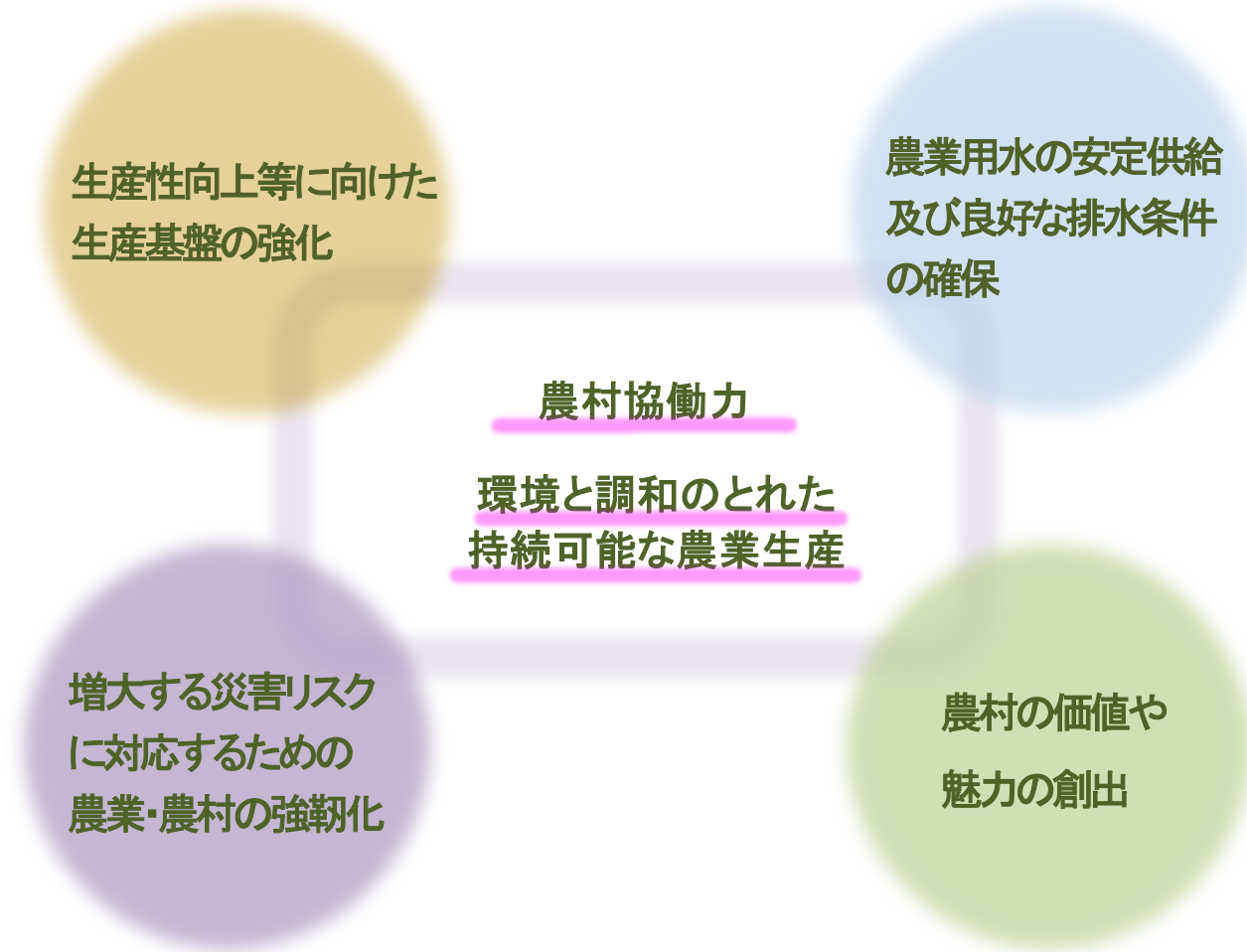
国営事業の実施状況
(左:幹線用水路の整備、右:工事監督職員による出来形検査)

全国の農業・農村が舞台

全国の国営事業の実施位置（令和8年度）



農業・農村に関する施策展開の考え方



農業・農村をめぐる情勢及び課題

我が国の農業・農村は、これまで以上に深刻かつ複雑な課題に直面しています。国内外の情勢及び課題に適切に対処し、将来にわたって食料安全保障を確保、多面的機能を発揮していくことが求められています。

- ✓ 食料安全保障を取り巻く環境の変化
- ✓ 農業者の減少に伴う農業生産活動等への影響
- ✓ 農業・農村の多様性への配慮
- ✓ 農業生産基盤等の脆弱化
- ✓ 自然災害リスクの増大
- ✓ 建設業を取り巻く情勢の変化
- ✓ 持続可能な環境配慮の主流化

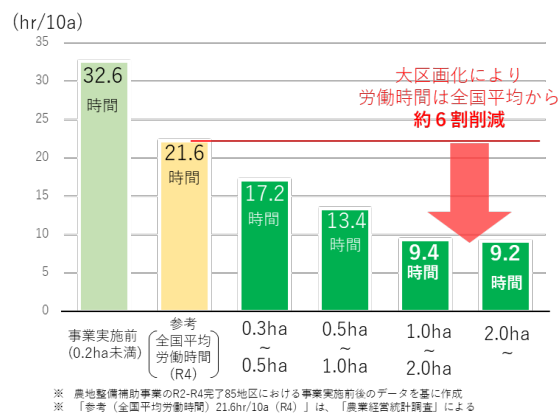
生産性向上等に向けて、農業生産基盤を強化する。

農業の生産性向上等に向けて、担い手への農地の集積・集約化やスマート農業の推進による生産コストを低減するための農地の大区画化、管理作業の省力化に資する基盤整備等に取り組んでいます。

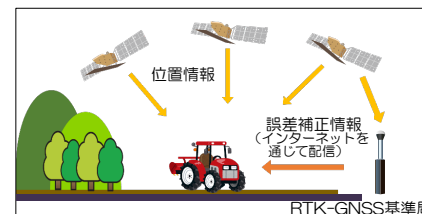
また、国内需要への対応や海外への輸出を見据えて、麦・大豆や野菜や果樹等の園芸作物の生産拡大を図るための水田の汎用化・畑地化、畑地・樹園地の高機能化等を進めています。



自動走行農機等に対応した農地の大区画化



区画規模別の稲作労働時間



RTK-GNSS基準局の設置により衛星測位データを補正し、自動走行の精度を向上

スマート農業の実装を可能とする基盤整備



リモコン草刈機の導入に適した
法面の緩傾斜化



自動給水栓による水管理の省力化



用排水路が未整備で
排水不良や湿害が発生



排水改良 (排水路、暗渠排水) 等による
米、麦、園芸作物のブロックローテーション



畑地かんがい施設の整備
(園芸作物の生産拡大)

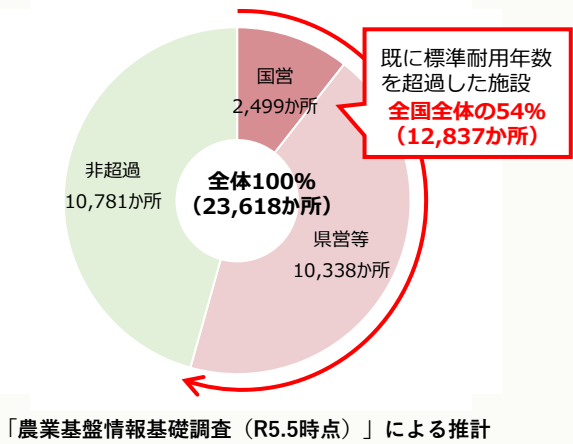


収穫作業の機械化 (ネギ)

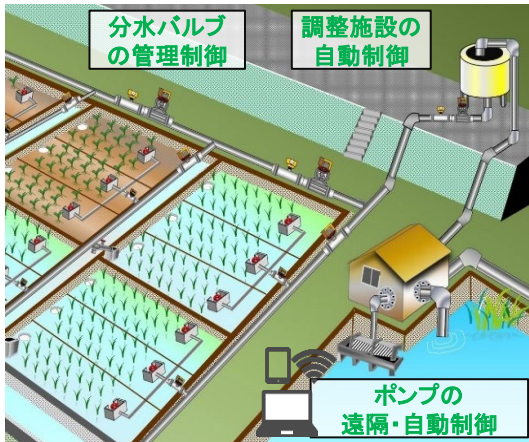
農業用水を安定供給し、良好な排水条件を確保する

農業用水の安定供給や雨水等の適切な排水に必要な不可欠な農業水利施設は、老朽化が進行しており、施設の機能を持続的に保全できるよう、適時適切な補修・更新や維持管理の効率化・高度化に取り組んでいます。

農業水利施設の老朽化

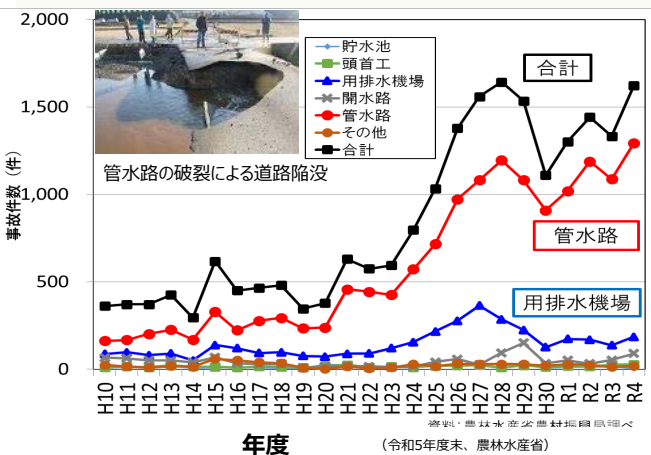


適時適切な更新（パイプラインの更新）



水管理の遠隔化・自動化
(ICT等新技術の導入)

農業水利施設の突発事故発生状況



UAV(ドローン)を活用した機能診断



農業水利施設を活用した小水力発電の導入

災害に備え、農業・農村を強靱化する

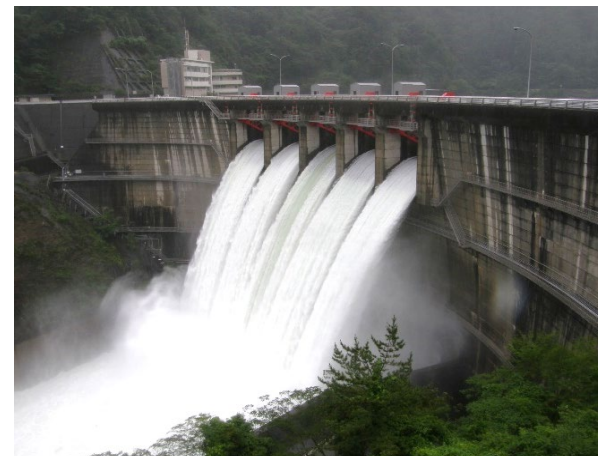
気候変動等により頻発化・激甚化する災害に対応するため、排水施設の整備や災害復旧に取り組んでいます。
また、農業用ダムの事前放流や「田んぼダム」など、農地・農業水利施設が有する洪水調節機能等を活かした取組（流域治水の取組）を進めています。



排水施設（排水機場）の能力向上・耐震化



災害復旧（農地への堆積土砂・流木の撤去）



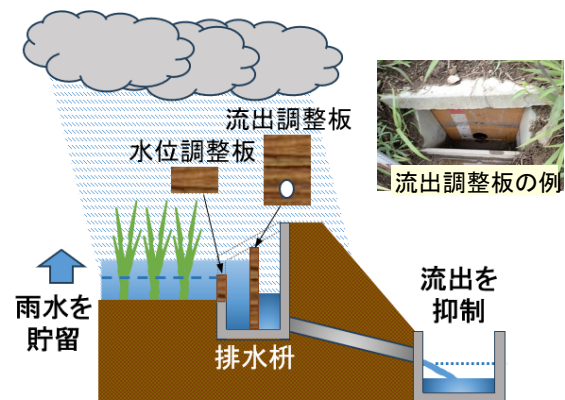
農業用ダムからの事前放流



農業用ため池の水位を把握するための
遠隔監視機器の導入



農業用ため池における排水ポンプの設置
（MAFF-SATによる災害復旧）



「田んぼダム」※の取組

（※）落水口に流出量を抑制する板等を設置し、水田に降った雨をゆっくりと排水することで湛水被害リスクを低減する取組

農村の価値や魅力の創出

農村においては、高齢化・人口減少が更に進行する中で、農業・農村に継続的に関わる農村外部の多様な人材（「農村関係人口」）の拡大が重要となっています。

このため、農村の多様な地域資源を活用した所得の向上と雇用機会の確保、生活の利便性の確保、農村を支える人材の裾野の拡大について、民間企業や関係省庁と連携して取り組んでいます。



農林水産物の加工・販売施設の整備



生活インフラ（農道、農業集落排水施設）の整備



棚田地域の振興・魅力の発信



地元食材・景観等を活用した農泊の推進



地域ぐるみでの農地の保全、生活支援

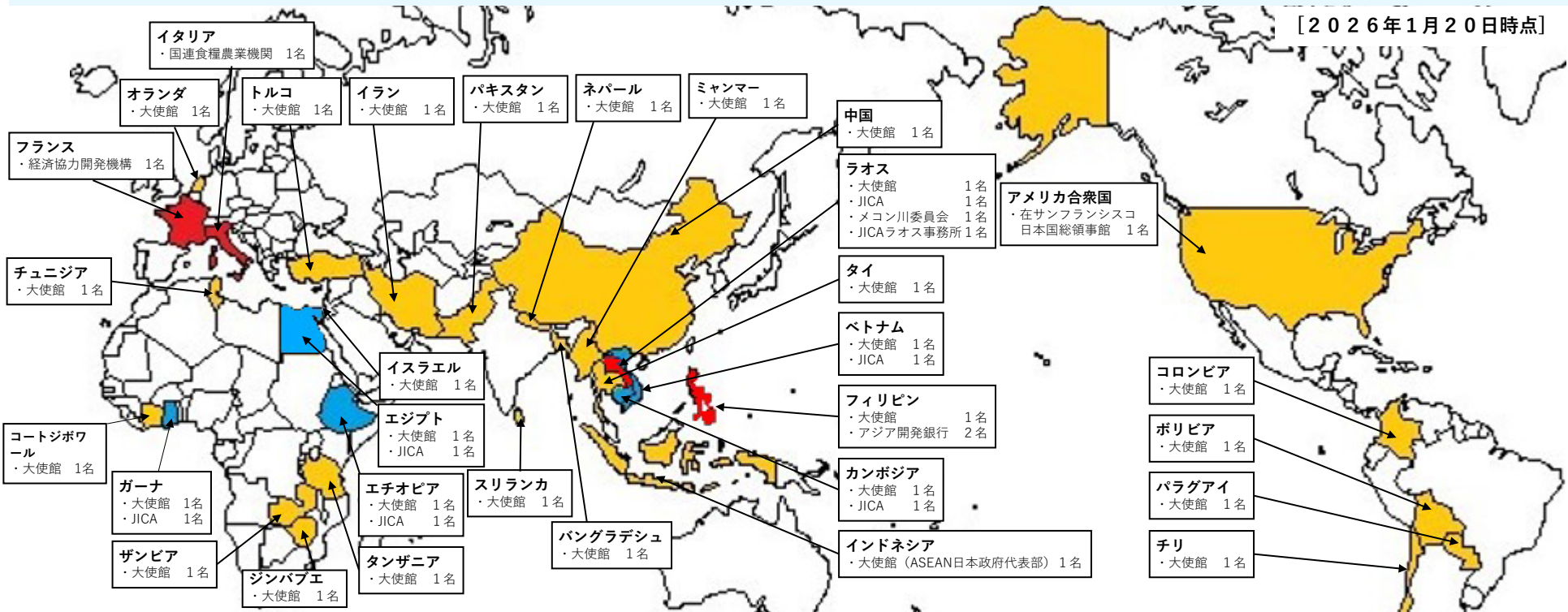


鳥獣被害対策、ジビエ利活用

農業工学分野における国際協力

国内業務で培われた農業工学分野の知識・技術等を活用し、世界の食料、農業・農村を取り巻く課題の解決に向けて貢献しています。

[2026年1月20日時点]



在外公館（書記官）



- 外交官としての様々な任務
- ODA(政府開発援助)の企画・実施管理、農産物貿易交渉の調整等

JICA専門家



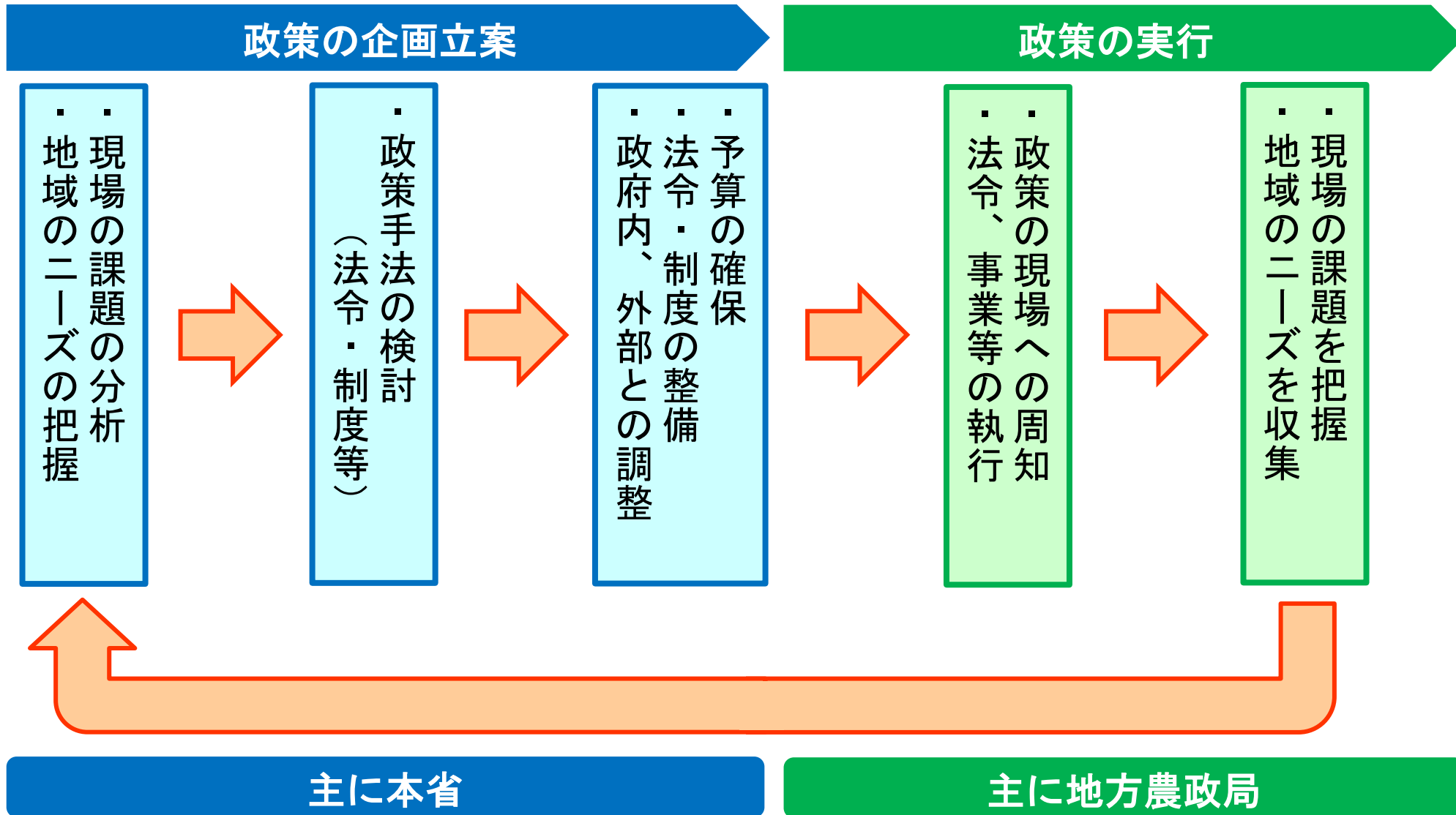
- 現地政府機関等の政策アドバイザー
- 技術協力プロジェクトの専門家（灌漑、水管理等）

国際機関



- 各国際機関の職員として、飢餓・水不足等の世界的な問題の解決に向けた支援業務

政策の企画・立案から実行までの流れ



総合職：本省で採用。
本省勤務が多い。

一般職：各農政局で採用。
農政局勤務が多い。

国会・予算編成の流れ

